

江別市生涯学習推進協議会

「苦悩を通して歓喜」

20年の歴史に感謝

江別市生涯学習推進協議会
会長 谷川 幸雄

静かな心で新年を迎え、神仏に手をあわせて早や半年が過ぎました。
『生老病死』をはじめとして、人の世には思いのままにならぬことがあまりにも多くあるように思います。

皆さんも同じようなことを考えていらつしやるのではないで



しよつか。けれども、よくないと
思うことも色々あるけれど、それ
はいつかは必ずよい方向に結び
つき、時至れば転じて発展への
道に結びついて行くことがある
と信じていることが大切です。その
ためには素直な心、誠実な心、感
謝の心をもって、たゆまぬ歩みを
続けることだと思えます。これは
また自然の理に則する道でもあ
ると思っております。

1995年3月26日に「江別市生涯学習推進協議会」を発足して20年目を迎えました。初代会長伊藤貢氏を中心に、市の補助金500万円を受けて、夢と希望を持って歩み続けて20年、初期の会の目標を要約すると「市民の主体性に基づいて学習活動を活性化し、本市における生涯学習の振興を図るため、必要事業を行い、もって市民の豊かな生活と生きがいを高めていく……」。この目的は、江別市の20年、50年先を見据えた将来像を考へて策定されたことがわかります。

1965年、成人教育運動に力を入れた人、ポール・ラングラーンが「社会教育の新しい動向」の論文の中で「生涯教育」という概念を世界に広めました。
1981年の中央教育審議会「生涯教育」答申発表、1992年に生涯学習審議会が「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」答申、まもなく江別市は国の施策に対応して、1995年3月本協議会を発足しています。まさに、創出への道「苦悩を通して歓喜」の年であったらうと思えます。

歴史は人がつくり、人はその歴史によって育てられると申しますが、発足から今日まで本協議会の充実、発展に取り組んでこられた教育委員会事務局、理事會、加盟団体、市民関係機関の皆様、心を合わせ、知恵を出し合い、そして力を結集して取り組んで来た労苦に対して20年の節目を祝いたいと思っております。平成27年に皆さんと共に心を込めた行事を実施したいと考えております。

役員(平成26年度)

副会長が替わりました
澤口智視氏(江別生涯学習インストラクター)の念に替わり、阿部実氏(江別市自治会連絡協議会)が副会長に就任しました。

【会長】
谷川 幸雄
北翔大学・学校法人浅井学園

【副会長】
阿部 実
江別市自治会連絡協議会

【理事】
おはなしなあに
奥谷 浩一
札幌学院大学

中村 律子
江別まことええ&北海道情報大学

立石 静夫
NPO法人江別市文化協会

高木 玲子
子ども文化ネットワーク・江別

佐藤 ひとみ
3B体操江別サークル

加藤 節子
江別認知症の人の家族を支える会

江畑 稔
江別家庭生活カウンセラーグループ

鈴木 眞由美
えべつ手話の会

澤口 智視
江別生涯学習インストラクターの会

鈴木 智枝
江別市女性団体協議会

西懸 昭子
江別消費者協会

洞野 博文
江別市子ども会育成連絡協議会

伊藤 洋子
江別市食生活改善協議会

古川 淳子
NPO法人えべつ協働ネットワーク

梶野 雅裕
野幌商店街振興組合

広報委員会

広報委員長 西懸 昭子

平成26年度広報委員会がスタートしました
今回の「ら・ら・ら」はいかがでしたしよつか?

節目の年度を前により多くの方の目に留まりやすく、手に取りやすく、読んでいただけるように紙面の形態を新しく致しました。当協議会の加盟団体の皆様の日頃の活動をより多く「ら・ら・ら」でお知らせできたらと思っております。

広報委員会のお手伝いをさせていただき、多方面の皆さんの活動の様子に触れ、笑顔と元気を頂いています。これからも「ら・ら・ら」の誌面から溢れる笑顔と元気をお届けできますよう、努力いたします。

委員会では「ら・ら・ら」発行時にイベント情報を募っています。ぜひ情報をお寄せいただき、参加者募集や活動の様子などPRにご活用下さい。あわせて、最近ご利用が増えていますHPの情報も充実も図っていきたく思っています。今後ともどうぞご協力よろしくお願い致します。

総務委員会

総務委員長 奥谷 浩一

平成26年度総務委員会が始動しました。今年度もリレー講座、加盟団体研修会を要に各事業を開催いたしますので、加盟団体の方々のご協力をよろしくお願い致します。

リレー講座は9月5日～9月19日の毎週金曜日午後6時30分から大森公民館で開催いたします。「よりよくフレバー」に生きる

には「をテーマに、各方面の専門家を招き、講演いたします。今後ポスターやチラシなどで周知していく予定です。

加盟団体研修会は、昨年に引き続き「地域活動におけるリーダーの在り方」と題し、「地域をいかし地域にいきる」をサブテーマとして9月26日金曜日に大森公民館で開催します。

また、視察調査についても昨年と同様に近隣市へ多くの会員で訪問したいと考えております。

今年度も各事業を通じて生涯学習活動を広く市民の方に親しんでいただけたらと考えております。

事業委員会

事業委員長 立石 静夫

生涯学習推進協議会も本年度で創立20周年となります。20年前の教育的地域活動等を振り返ってみますと、無償ボランティア活動等もそろそろ限界に近づき、国として全国的に生涯学習推進協議会を設置し、地域民間活動団体の活性化を推進したと記憶しています。

結果的に数年後には個々の明確な活動目的を持つ非営利団体(NPO法人)等が数多く設立されてくる、またそれら団体を含めた地域活動団体を支援する形で民間中心の市民活動センター等も全国的に展開され、現在はその地域市民力で活発な生涯学習の実践活動がなされていると考えます。

このような形の先進地では、すでに生涯学習推進協議会も発展的解消となつてきています。

20年目を期に当事業委員会としては、生涯学習の意義とその必要性を皆さんに理解していただく事業のあり方についてを話題とし進めていきたいと考えていますので、ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

おめでとう！
とわの森三愛高校女子ソフトボール部

制全
覇国



平成26年3月21日～24日に三重県で開催された第32回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会で、とわの森三愛高校女子ソフトボール部が初優勝に輝きました。

大会直前は、雪でグラウンドが使えず、基礎練習が大部分でしたが、試合の度に成長し、創部56年目の快挙を達成しました。

現在は、8月1日に神奈川県で開催されるインターハイに向けて、様々な状況に応じたフォーメーションを繰り返し練習しています。

4月から1年生が加わり、総勢36人となった部員をまとめるのは、主将でキャッチャーの手塚麻菜美さん(3年生)。「様々な状況に対応できるように、自分たちで考えながら、身体で覚えるまで繰り返し練習します。また、何か壁に突き当たった時は、問題を共有し、みんなで話し合っ解決策を考えます。」と自分たちで考える

この大切さを語っていました。選手たちを率いる矢端信介監督も「こんな戦術も選手ひとりひとりが考え、理解しないと意味がない。」と話します。
今、自分が出来る事は何かを考え、実行に移す。年齢もフィールドも違いますが、私たちが目指す生涯学習の推進にも繋がることではないでしょうか。ひたむきにソフトボールに向き合う姿をみて、身の引き締まる思いです。
選手たちは、7月中旬から静岡県で合宿を行い、インターハイ本選に挑みます。がんばれば、とわの森!



チームの要、主将の手塚さん

江別市 NPO 法人さかい成年後見センター

当 NPO 法人は、平成 21 年 5 月に設立した法人で、会員は行政書士、社会保険労務士、社会福祉士、介護福祉士、看護師、会社役員や公務員 O B など多職種が集まって活動している仲間です。

知的障がいや精神障がい、また、高齢化社会の問題となつている、認知症などにより判断能力が十分でない方が、自らの財産の管理や介護・福祉サービスの利用、医療・入院契約の手続きができないとき、また、悪質な訪問販売、住宅リフォームの被害を未然に防ぐため、子どもがいないため、将来判断能力が衰えた場合などに備えて、資産の管理や生活の支援などを進めてもらう援助者(成年後見人等)などを選ぶことで、自らの権利と財産を守るはじめての一步として、法律的に保護する制度が「成年後見制度」です。

この成年後見制度は、自己決定の尊重の理念と本人の保護の理念との調和を目的として、より柔軟に、かつ弾力的で利用しやすい制度として掲げられてきましたが、いまだ利用者が少なく、今後利用者が増加しても親族以外の第三者後見人の不足が生じる見込みであり、その受け皿として、いま「市民後見人」が注目されています。

わたしたちは、この制度を利用したい方の相談や、施設や病院などに出席して、もっと詳しい内容を知りたい方にセミナーを開催

これからのイベント

- ◆NPO法人江別市文化協会 第1回日本少年少女オーケストラフェスティバル in 北海道(江別大会)
◆札幌学院大学 第35回人文学部公開講座
◆江別生涯学習インストラクターの会
◆江別消費者協会
◆えべつ手話の会
◆江別演劇鑑賞会
◆子ども文化ネットワーク・江別
◆江別創造舎
◆MOA美術文化サークル
◆おはなしなあに



市民のみなさんの気軽な相談の場として、是非利用してください。
事務所：江別市幸町1-15
(こすみ事務所内)
☎(011)398-4643

江別市女性団体協議会 第62回江別市女性大会

魅力発見！発信！わが街、江別
講演ミニコンサート
開催日/10月1日(水)10時~14時(受付9時30分)
会場/野幌公民館
参加料/5000円
1.講演
演題:「話しあえこれ」
講師:よつへつ氏
芦別市出身、江別市在住。番組リポーター、ナレーション、講演、司会などマルチに活躍中。
※演題については、変更となる場合がございます。
お問い合わせ先
駒込 382-2707

江別市子ども会育成連絡協議会では地域の異年齢の子ども同士によるスポーツ活動文化活動等を通して、豊かな心の育成や体力の向上に取り組んでいます。
こつした活動のひとつである「江別市子ども会小学生相撲大会」が7月19日に江別市民体育館相撲場で開催され今年で36回目を迎えました。
総勢23名のちびっこ力士による熱戦は、お父さんやお母さんたちも「もっと押せ」「まわりこめ」などと思わず声を上げてしまうほどに会場を盛り上げてくれました。
普段は別の学校に通う児童たちが講習会、大会を通して新しく



友達になるなど、一回り成長した姿も見せてくれました。
当会は今後も、子どもたちにとって有意義な体験や新しい交流が得られるような、青少年の健全育成を目的とした活動を推進していきますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

第36回 江別市子ども会小学生相撲大会

江別市生涯学習推進協議会加盟団体研修会
江別市生涯学習推進協議会では、昨年度に引き続き「地域活動におけるリーダーの在り方」をテーマにした講座を開催します。「地域をいかに地域にいきる」をサブテーマに、地域に密着して活動されている方の実践的なお話を伺います。
○日 時: 9/26金曜日・時間は18:30~20:00
○会 場: 大麻公民館 研修室2号
○進 行: 江別生涯学習インストラクターの会
○定 員: 100名(先着順受付)
○受講料: 無料
○主 催: 江別市生涯学習推進協議会
○詳 細: 教育委員会生涯学習課生涯学習係まで(381-1062)
○申込み方法: 教育委員会生涯学習課までお申込みください。
電話 381-1062 FAX 382-3434
E-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

生涯学習リレー講座 『よりよくクレーバーに生きるには』
生涯学習推進協議会では、『よりよくクレーバーに生きるには』をテーマに、専門の講師を招き全3回にわたり講座を開催します。消費生活や税・年金、健康など様々な側面から賢く生きる方法について考えます。
◆第1回 9/5(金)
「最新の事例から知る悪質商法の現状」
講 師: 江別消費者協会 消費生活相談員 中井悦子
内 容: 相談室によせられる最新の事例から学ぶ悪質商法の手口や対策
◆第2回 9/12(金)「暮らしに役立つ知っとく情報」
講 師: NPO法人北海道未来ネット 代表理事 横江 光良
内 容: 税や年金を通じて学ぶ、生き方・暮らし方
◆第3回 9/19(金)
「高めの脂質とロコモティブシンドロームにご用心」
講 師: 江別市保健センター 保健師
内 容: 脂質異常症やロコモティブシンドロームといった健康問題について学びます
○時 間: 18:30~20:00
○会 場: 大麻公民館 研修室2号
○定 員: 100名(先着順受付)
○受講料: 無料
○主 催: 江別市生涯学習推進協議会
○詳 細: 教育委員会生涯学習課生涯学習係まで(381-1062)
○申込み方法: 教育委員会生涯学習課までお申込みください。
電話 381-1062 FAX 382-3434
E-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

What? アメリカの手話 & 日本の手話
RED 赤色
《編集後記》
青空の広がる夏、今年度の新紙面の「ら・ら」が完成しました。いかがでしたでしょうか?
今年も皆様と学び喜びを分かちあい、実りある1年になりますように、どうぞ、ご活用ください。
松山 和子